

宮永甲太郎 [京都精華大学芸術学部造形学科陶芸専攻教授] 推薦

川瀬理央 Kawase Rio

陶芸作家

型成形／ちねり



樹木をモチーフに器型の作品を制作しています。幹のうねりや枝ぶりに樹木の時が表れるように、器には作り手、使い手の重ねた時間が刻まれていきます。「今」に至るまでの過程に魅力を感じて制作しています。

1990年 大阪府生まれ
2014年 京都精華大学芸術学部素表現学科陶芸コース 卒業
2016～2019年 大阪産業大学非常勤助手
現在 静岡県在住、作陶



日野田崇 [Artist・手色形染作家・嵯峨美術大学教授] 推薦

谷内由倫子 Taniuchi Yuriko

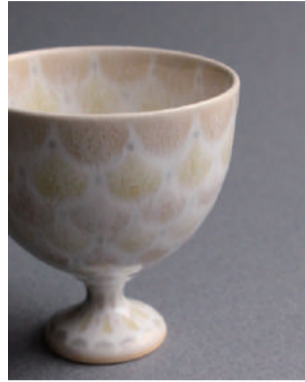
うつわ作家

釉薬による絵付けの表現



急須や酒器を中心に制作。色釉の上に白が霞がかかったり、溶けて混ざったり…。釉薬による絵付けの表現を楽しんで頂き、工芸を生活に取り入れてもらえるきっかけになればと考えています。

1988年 京都府生まれ
2011年 京都嵯峨美術大学芸術学部陶芸コース 卒業
2012～2015年 同大学にて教務助手勤務
現在 京都府在住、制作



藤原元 [石川県立九谷焼技術研修所技術指導課長]

中村卓夫 [梅山窯窯主] 推薦

根石和美 Neishi Kazumi

陶芸家

釉薬の上に色漆で彩色



移りゆく空、時をかけ鮮やかになる漆、それらにみる月日と情緒を作品に込めています。漆を摺り込むことで釉薬の模様を鮮明にし、またその白い釉薬は漆の発色を高めており、陶と漆が相乗した作品を制作しています。

1991年 東京都生まれ
2017年 九谷焼技術研修所実習科加飾コース 修了
2019年 京焼の窯元にて勤務
2020年 九谷焼技術者自立支援工房に勤務
現在 石川県在住、制作



北野勝之 [岐阜県立多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科主任] 推薦

高田恵里 Takada Eri

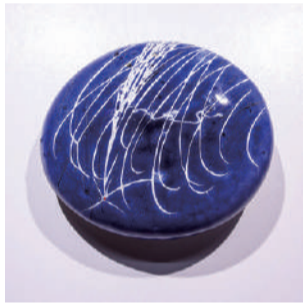
陶芸作家

絵画技法と組み合わせたやきもの



女性の一労働者として生きていく中で経験した不平等や格差から、近年は社会問題をコンセプトに現代美術としてやきものを制作。ネガティブな出来事から着想を得てポップでポジティブな表現を目指し、社会に新しい視点を投げかけます。

1993年 岐阜県生まれ
2017年 多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻 卒業
2019年 多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科 修了
現在 岐阜県在住、制作



小笠原森 [美術家・陶芸家] 推薦

西島蓮 Nishijima Ren

陶芸家

泥漿鑄込み／タイル画



泥漿鑄込みによる立体作品や、釉薬でタイル画を制作しています。偶発性を感覚に取り入れ、立体と平面の表現に取り組んでいます。

1992年 福岡県生まれ
2015年 多摩美術大学美術学部工芸学科 卒業
2017年 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士課程 修了
現在 多摩美術大学工芸学科陶磁研究室助手
神奈川県在住、制作

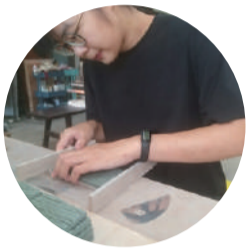


板屋成美 [金沢卯辰山工芸工房陶芸工房専門員] 推薦

洪湛筑 Hong Jhan Jhu

陶芸作家

タイル状の土の塊を作り、焼成後にそれを並べることで、抽象的な画面を作り出している



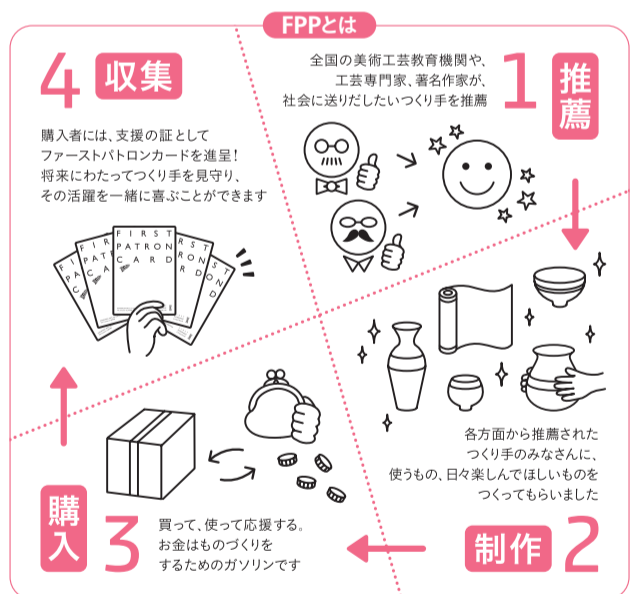
自分の五感で味わった環境の中のさまざまな動きや、そこから生まれる心理状態を、陶芸を媒体として表現したいと考えています。

1994年 台北市(台湾)生まれ
2020年 台湾台南芸術大学陶磁専攻修士課程 卒業
2022年 日本金沢卯辰山工芸工房入所
現在 金沢市在住、制作



「ハジメテを応援」みんなで!

ファーストパトロネージュ
FIRST PATRONAGEとは、つくり手のスタートを応援することです。
つくり手を推薦する人、この機会を提供する人、
そしてつくられたものを買う人、みんなでつくるプログラムです。



ファースト・パトロネージュ・プログラム第7回 2024冬
本プログラムでは、工芸の教育ならびに後進の指導にあたっての方々に推薦いただき、審査会で選出された、20名の若手工芸作家(陶芸、漆芸、ガラス、金工、木工、染色)が展示しています。
[審査員] 黒田耕治(しぶや黒田陶苑)、小山登美夫(TOMIO KOYAMA GALLERY)、遠山正道(株式会社スマイルズ)、福田朋秋(高島屋京都店美術部)、山田遊(method inc.) 五十音順・敬称略

ファースト・パトロネージュ・プログラム公式サイト
川村文化芸術振興財団の各SNSアカウントで、ファースト・パトロネージュ・プログラムの最新情報や出展アーティストの紹介をご覧ください。

会場アクセス
KITTE地下1階 東京シティアイ パフォーマンスゾーン
東京シティアイまでのアクセス
https://www.tokycity-i.jp/about/access

駒井正人 [陶磁器作家・多治見市陶磁器意匠研究所総括主査] 推薦

生嶋花 Ikushima Hana

陶磁器作家

磁器／鑄込み



鑄込みで作られる軽やかな歪みと原型を作る際のアウトライン、最後に手作業によるレリーフを合わせて、それらが一体感を持って柔らかく凛とした一つの作品になるようなものを目指して、制作しています。

1997年 神奈川県生まれ
2019年 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科木工専攻 卒業
2024年 多治見市陶磁器意匠研究所技術コース 卒業
2024年 多治見市陶磁器意匠研究所セラミックラボに在籍
現在 岐阜県在住、制作



藤原元 [石川県立九谷焼技術研修所技術指導課長]

中村卓夫 [梅山窯窯主] 推薦

大家まい Oie Mai

色絵磁器作家

上絵付け／金彩



私たちの身近にいる、あるいは手の及ばない場所に暮らす動物や植物をモチーフに、器に絵を描いています。エブラシと筆を組み合わせて彩色と骨描きのレイヤーを重ね、優美で繊細な表現を目指し制作しています。

1994年 石川県生まれ
2017年 石川県立九谷焼技術研修所本科 修了
現在 石川県在住、制作



ファースト・パトロネージュ・プログラム

第7回
2024・冬



出展作家20名

日時 12.20(金) 13:00-18:00
12.21(土) 10:00-17:00

会場 KITTE地下1階 東京シティアイ パフォーマンスゾーン
入場料 無料・展示即売
東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE地下1階
東京駅地下道で直結
JR東京駅丸の内南口より徒歩約1分

[問合せ先] ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局
一般財団法人川村文化芸術振興財団 <https://www.kacf.jp>
一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン <https://thecreationofjapan.or.jp>
東京都中央区銀座4-3-6 G4 BRICKS BLD.7階
TEL:03-6228-6454 FAX:03-6228-6750 E-mail:fpp.info@thecreationofjapan.or.jp

主催 一般財団法人川村文化芸術振興財団
協力 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (Co.)
URL <https://fpf.kacf.jp>



FIRST PATRONAGE PROGRAM 2024

塩谷良太 [造形作家・多摩美術大学工芸学科准教授] 推薦

森川裕也 Morikawa Yuya

美術作家・陶芸家

多数のモチーフを組み合わせたカラフルな陶造形表現



リサイクルショップで収集した民藝品、工芸品、工業製品やフィギュア、廃材などをモチーフに、それらの背景や物語を焼き物で再構築し表現することを目指しています。



1993年 三重県生まれ
2015年 多摩美術大学美術学部 工芸学科 卒業
2017年 多摩美術大学大学院 美術研究科工芸専攻 修了
2017年 多摩美術大学工芸学科 研究室 助手
現在 埼玉県在住、制作

安井友幸 [漆造形作家・京都市立芸術大学美術学部漆工研究室教授] 推薦

隗楠 Wei Nan

漆アーティスト

皮革素材を用いた漆造形表現



皮革の特性や漆の表現力に魅了され、両素材を活かした造形表現を追求してきました。皮革の持つ生命力と漆の輝きを最大限に引き出すことにこだわり、自然の美しさや力強さを作品に込めて制作しています。



1994年 北京市(中国)生まれ
2019年 佐賀大学大学院地域デザイン研究科芸術デザインコース 修士課程 修了
2024年 京都市立芸術大学大学院美術研究科漆工領域博士後期課程 修了
現在 京都府在住、制作

鹿田洋介 [金沢卯辰山工芸工房専門員] 推薦

寺澤季恵 Terasawa Kie

ガラス作家

吹きガラス



生命の綺麗な部分のみではなく、腐敗や死などといったむしろ真逆のものから「生」を感じようとする自らの生命観と、ガラスという素材の現象との間で作品研究をしています。



1997年 静岡県生まれ
2020年 多摩美術大学工芸学科 卒業
2022年 富山市立富山ガラス造形研究所研究科 卒業
現在 金沢卯辰山工芸工房 所属 石川県在住、制作

畠山耕治 [金属作家・前金沢美術工芸大学工芸科教授] 推薦

曾谷朱音 Sodani Akane

金属作家

金属 / ガラス



装飾の胎としてでしかジュエリーのシーンに登場できなかったこれまでの鑄造に対して、鑄造による「胎自体から生み出される装飾」を提案しています。



1996年 兵庫県生まれ
2020年 金沢美術工芸大学 工芸科鑄金コース 卒業
2022年 金沢美術工芸大学 美術工芸研究科 工芸専攻 修了
現在 東京都在住、制作

石坂健一 [長野県塩尻市副市長] 推薦

竹内桜咲子 Takeuchi Sakurako

塗師

木曾堆朱 / 本堅地 / 木地呂色



生命維持に必要な不可欠な食が、現代では義務的なものになりつつあります。そういった無彩色の食から、「このお皿を使いたいから食べよう」「このお皿に合う料理を作ろう」といった、彩色の食へ導く器を制作しています。



1999年 熊本県生まれ
2020年 京都伝統工芸大学校 漆工科 卒業
輪島塗の工房 勤務
2023年 小坂進うし工房にて 小坂進氏に師事
塩尻市地域おこし協力隊
現在 長野県在住、制作

住谷晃一郎 [香川県文化振興課美術コーディネーター] 推薦

福場友美子 Fukuba Yumiko

漆アーティスト

乾漆 / 蒟醤 / 蒔地塗



主体性が薄れやすい現代だからこそ、実在感や自分のアイデンティティが段々と思ひ起こされるような表現を目指して制作しています。漆の多機能性を活かす新しい質感とデザインを模索しています。



1994年 大阪府生まれ
2018年 京都市立芸術大学美術学部 工芸科漆工専攻 卒業
2021年 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
2022年 kamome. Shop & Atelier 開業
現在 香川県在住、制作

古田航也 [金沢卯辰山工芸工房金工工房専門員] 推薦

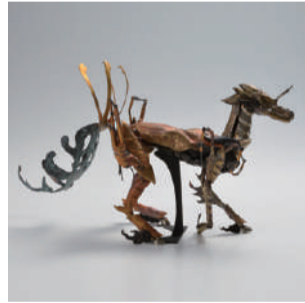
綾井政城 Ayai Masaki

金工作家

打ち出し / 鍛金



主に生き物から着想を得ており、それらから得られた驚きや畏怖などの感覚を、金工の技法によって具現化することをテーマとして制作しています。



1995年 大阪府生まれ
2018年 金沢美術工芸大学 工芸科金工コース 卒業
2020年 金沢美術工芸大学大学院 工芸専攻修士課程 修了
2021年 金沢卯辰山工芸工房 入所
現在 石川県在住、制作

須田賢司 [重要無形文化財「木工芸」保持者・木工藝学林清雅舎主宰] 推薦

水野咲衣花 Mizuno Saika

木工作家

指物技法



「指物」は普遍的な美意識や、木材の収縮等考えられた非常に理にかなった技法だと思えます。木それぞれの美しさを素直にかたちにできたらと思い、日々制作しています。



1996年 北海道生まれ
2015年 北海道おといねっふ美術工芸高等学校 卒業
2015年 山梨県の家具工房にて修業
2019年 北海道音威子府村にて木工品製造、木工体験施設の指導員となる
2024年 群馬県甘楽町に移住・独立、日本工芸会正会員
現在 群馬県在住、制作

加藤尚子 [女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科工芸専攻准教授] 推薦

飯田桜子 Iida Sakurako

Glass Artist

宙吹きガラス



溶けたガラスの流動性や炎の影響で刻々と変化していく色ガラスの表情に時の経過を感じ、時を連想させる痕跡や情景をモチーフに制作しています。



1991年 東京都生まれ
2014年 女子美術大学デザイン・工芸学科 卒業・渡米
2015年 Brooklyn Glass Studio Internship (アメリカ) 帰国後、彩グラススタジオ 勤務
2019,2021年 Artist in Residency Program (ベルギー)
現在 東京都と神奈川県で在住、制作

本郷 仁 [富山ガラス造形研究所主任教授・富山ガラス工房館長] 推薦

佐々木俊仁 Sasaki Shunji

ガラス作家

色ガラス / 金属箔



祖母の筆筒から出てきた一枚の古布と出会った。それはまるで花のような美しさを放っていた。その布のような、「時を経て感動をもたらす作品を作りたい」という願いを込めながら、吹きガラスで制作を続けています。



1987年 岩手県生まれ
2007年 秋田公立美術工芸短期大学 ガラスコース 卒業
2016年 富山ガラス造形研究所 助手
2019年 S glass studio 開設
現在 富山県在住、制作

中川周士 [株式会社中川木工芸社長] 推薦

鈴木大樹 Suzuki Daiki

木工作家

木桶作りの技術



木という素材が持つ魅力を見て、触れて、感じてもらいたい。多くの方々に知ってもらいたいという思いでモノづくりをしています。伝統的な木桶だけでなく新しいデザイン、現代に馴染むような作品に挑戦しています。



1991年 大阪府生まれ
2014年 京都伝統工芸大学校 卒業、中川木工芸比良工房 入社
2023年 独立
現在 京都府在住、制作

佐藤 碧 [染色家・金沢卯辰山工芸工房染工房専門員] 推薦

徐素平 Xu Suping

染色家

絞り / 藍染め



長い時間を作業に費やして、結果として立ち上がってくるものへの驚きや喜びを感じるために制作しています。布を絞り、絞った糸を解かず、そのまま布に留めておくことで出来る立体的な形から、手を通して布に触れる触感や染める感覚などの布の可能性を発見していく作業です。



1996年 安徽省(中国)生まれ
2023年 京都芸術大学大学院染織テキスタイルコース 修了
2023年 金沢卯辰山工芸工房 入所
現在 石川県在住、制作